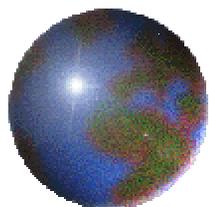
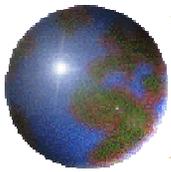


カイロ(エジプト)



# ICANNカイロ会合 政府諮問委員会報告 (平成20年11月2日～5日)

平成20年12月11日  
総務省 データ通信課企画官  
柳島 智



## 政府諮問委員会（GAC）の概要（1）

### GACの活動

ICANNの活動に関し、次の事項について政府の立場から検討、ICANN理事会に対して助言

- 公共政策課題に関する事項
- ICANNポリシーと各国国内法、国際協定との間で相互に関係がある事項

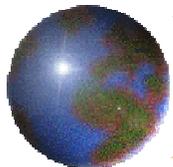
ICANNの理事会はポリシーの制定、採択においてGACの助言をしかるべく考慮しなければならない

### GACメンバー構成

現在、101の国・地域の政府及び9国際機関(オブザーバー)で構成

カイロ会合には48の国・地域の政府、3国際機関及び1招待国から参加

日本からは総務省が代表として参加



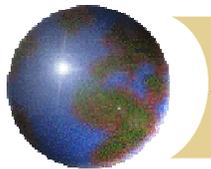
## 政府諮問委員会（GAC）の概要（2）

### カイロ会合での主要議題

- (1) IDN-ccTLD(国別トップレベルドメイン名の多国文字表記)
- (2) 新gTLD(分野別トップレベルドメイン)の導入
- (3) 共同プロジェクト合意(JPA)
- (4) ICANN会合の改革案
- (5) 2009年の作業計画と議長・副議長の選出

### 今後の予定

平成21年3月、メキシコ合衆国のメキシコシティーにおいて次回会合を開催予定



## カイロ会合結果概要(1)

### (1) IDN-ccTLD(国別トップレベルドメイン名の多国文字表記)

会合直前に公表されたIDN-ccTLDの実装計画案を精査し、前回パリ会合で取りまとめられたワーキンググループ報告の内容が基本的に反映されていることを確認

実装計画案で示された今後の課題について、理事会に以下の点について助言

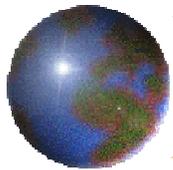
#### 理事会に対する助言事項(実装計画において配慮すべき事項):

ICANNとIDN-ccTLDの運営事業者との関係について、契約を強いることがIDN導入の障壁や遅延につながることを懸念していること

IDN-ccTLD運営事業者のICANNに対するコスト負担についても、それを強いることがIDN導入へのさらなる障壁になること

これらに関しては、ICANNとの契約及びccTLDの運営コスト負担に関連するドキュメントが、ICANN事務局から3～4週間のうちに公表される予定

IDN-ccTLD Fast Trackの今後の手続きは、新たなgTLDの導入と時期を合わせて進められ、来年3月のICANN会合で実装計画を確定し、来年6月頃に申請受付開始となる見込み



## カイロ会合結果概要(2)

### (2) 新gTLD(分野別トップレベルドメイン)導入

新gTLDの申請ガイドブック案では、前回のパリ会合において理事会に助言した地理的名称の使用に関して、政府の同意が必要とされる等の配慮されている内容となっていることを確認

本ガイドブック案が会合直前に発表されていることから、GACとしては本会合において全てのコメントをとりまとめることは難しいとの意見で一致

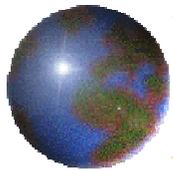
ひとまず、以下の点について理事会にコメント

#### 理事会に対するコメント(申請ガイドブック案において配慮すべき事項):

GACはccTLDとgTLDのドメイン名の差異が不鮮明になることについて懸念していること

GACはgTLDのドメイン名スペースにおいて、国名に関する文字列が許容されるべきかどうかについて検討を続けること

本件については、引き続き検討し、次回会合でコメントを取りまとめることとなった



## カイロ会合結果概要(3)

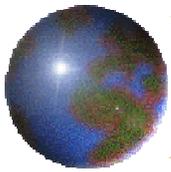
### (3) 共同プロジェクト合意(JPA)

JPA終了後のICANN組織のあり方について、PSC (President's Strategy Committee) によって作成されたアクションプランについて議論

議論の時間が足りなかったことから、今会合では、理事会への助言は行われなかった

#### 各国から表明された主なコメント概要:

- ・ ICANNが各国において法的地位を確保することに関連して、国と一民間組織であるICANNが各国とAgreementを締結することや、それが新たな負担につながるのではないかとの懸念
- ・ ICANNの予算規模が大きくなっている事に懸念が表明され、予算にキャップ制を導入することを提案
- ・ GACの役割について、JPAが終了した後も、公共政策の観点から重要な役割を果たすことが必要



## カイロ会合結果概要（４）

### （４） ICANN会合の改革案

ICANN会合の在り方、効率化について議論

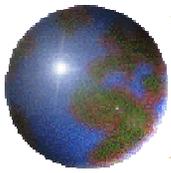
ICANN会合の改革について、理事会には以下の点について助言

#### 理事会に対する助言事項：

会合数を年3回から年2回に減少させると、財政的、時間的な負担は減少するが、単に議論のスローダウンとICANNの透明性と説明責任を縮小させるだけになりかねないこと

会合数の減少を検討する前に、遠隔地からの参加の促進やワーキンググループなどの会合の改革を進めるべきであること

必要なドキュメントが会合の直前に、かつ、英語でのみで配布されることが議論の遅れにつながっており問題であること



## カイロ会合結果概要(5)

### (5) 2009年の作業計画と議長・副議長の選出

2009年の優先検討課題として、以下の項目が定められた

#### 2009年優先検討課題:

IDN-ccTLD (fast track及び正式導入)

new gTLD

IPv4からIPv6への移行

DNSの安全・安定的な運用

ICANNの改革

GACの議長(任期2年)及び副議長(任期1年)の選挙が行われた  
(来年3月のメキシコ会合後に就任)

議長	カークリンス氏(ラトビア)(再任)
副議長	シャペル氏(フランス)(再任)
副議長	イスマイル女史(エジプト)
副議長	フェルナンド氏(スリランカ)